



# STAR'S REPORT

2023年12月期 中間報告書

スター精密株式会社

証券コード: 7718

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2023年12月期中間期(2023年1月1日から2023年6月30日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

2023年9月

代表取締役社長 佐藤 衛



### > 当中間期の業績について

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、資源価格の高騰や長期化するインフレの進行に一服感が見られるなか、全般に景気は緩やかな回復傾向にありましたが、米国や欧州の中央銀行による金利の引き上げに伴う景気後退の懸念の高まりや、中国における消費および投資の減速、為替相場の変動などにより、依然として先行きが不透明な経済情勢が続きました。

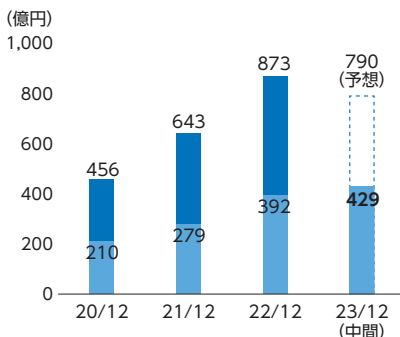
当社グループの主要関連市場におきましては、小型プリンターの需要については全般に弱含みとなりました。また、主力の工作機械の需要はこれまで好調に推移していた海外市場は勢いがなく低調となり、国内市場の需要も回復が進みませんでした。

このような状況のなか、当第2四半期連結累計期間の売上高は、全体に為替の円安による影響を受けたことに加え、主に工作機械の売上が欧米市場を中心に前期からの受注

## 連結業績ハイライト

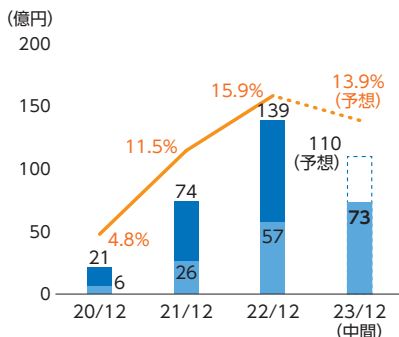
### 売上高

■ 中間 ■ 通期



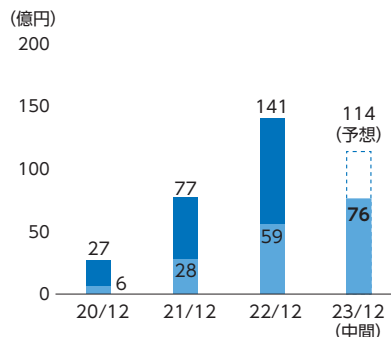
### 営業利益/営業利益率

■ 中間 ■ 通期 — 営業利益率



### 経常利益

■ 中間 ■ 通期



残の消化が進み増加したことから429億2千6百万円(前年同  
 期比9.4%増)となりました。利益につきましては、売上の増加  
 などにより営業利益は73億8千万円(同29.0%増)、経常利益  
 は76億1千4百万円(同27.5%増)、親会社株主に帰属する四  
 半期純利益は52億3千8百万円(同24.5%増)となりました。

### > 通期の見通しについて

今後の世界経済につきましては、グローバルでの地政学  
 リスクやインフレ、各国の金融政策などによる景気減速の懸念  
 など、依然として先行き不透明な経済情勢が続くものと予想  
 しております。このような状況のなか、通期の連結業績につつま  
 しては、第2四半期連結累計期間の実績を踏まえ、売上高は  
 790億円(前期比9.6%減)、営業利益は110億円(同21.0%  
 減)、経常利益は114億円(同19.7%減)、親会社株主に帰属する  
 当期純利益は84億円(同18.4%減)を見込んでおります。  
 なお、見通しの前提となる第3四半期以降の為替レートは、  
 米ドルは130円、ユーロは145円であります。

### > 株主還元について

株主の皆様に対する利益還元については経営上の重要な  
 施策のひとつとして位置付けており、安定配当として1株につき  
 年間60円以上を基本に自己株式の取得を含めた連結総還元  
 性向50%以上を目標とし実施することを基本方針としており  
 ます。

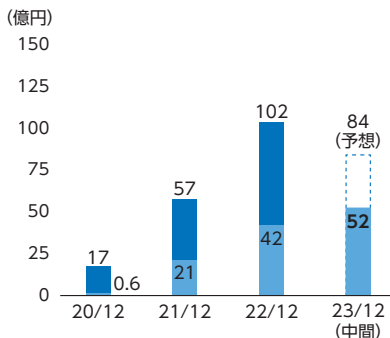
この方針に基づき、当期の1株当たりの中間配当は、30円と  
 させていただきました。また、期末配当につきましては、30円を  
 予定しており、中間配当とあわせた当期の年間配当予想は、  
 60円を予定しております。

さらに本年5月11日開催の取締役会の決議に基づき、総額  
 10億円(取得株式総数54万株)の自己株式を取得し、取得  
 した全株式数を本年8月に消却いたしました。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を  
 賜りますようお願い申し上げます。

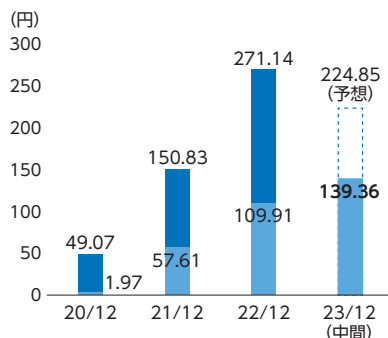
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

■ 中間 ■ 通期



1株当たり四半期(当期)純利益

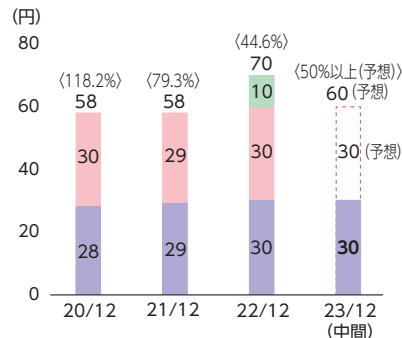
■ 中間 ■ 通期



1株当たり配当額・総還元性向

■ 期末配当 ■ 中間配当 ■ 特別配当

( )内数値は総還元性向





## 特機事業



売上高

**8,982** 百万円

営業利益

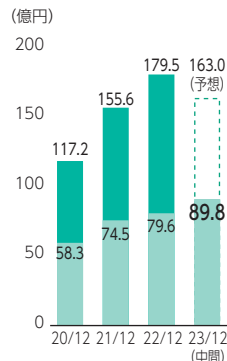
**1,701** 百万円

### ▶ 当中間期のポイント

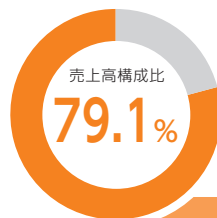
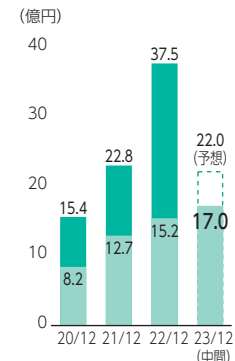
- 米国市場や欧州市場は、主に為替の円安の影響などから、売上は増加
- 国内市場は、市況が低調に推移するものの、株式会社スマート・ソリューション・テクノロジーの新規連結により、売上は前年同期並み

\*当第2四半期連結会計期間より株式会社スマート・ソリューション・テクノロジーを新規連結し「特機事業」に含めております。

売上高 (■ 中間 ■ 通期)



営業利益 (■ 中間 ■ 通期)



## 工作機械事業



売上高

**33,943** 百万円

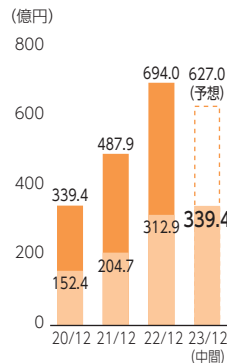
営業利益

**6,684** 百万円

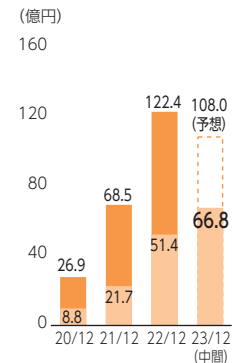
### ▶ 当中間期のポイント

- 米国市場は、医療関連を中心に、売上は増加
- 欧州市場は、自動車関連を中心に、売上は大幅に増加
- アジア市場は、中国において自動車関連を中心に、売上は大幅に減少
- 国内市場は、依然として自動車関連が振るわず、売上は減少

売上高 (■ 中間 ■ 通期)



営業利益 (■ 中間 ■ 通期)





## 優れた技術開発力をもつSST社のグループイン

本年4月6日、株式会社スマート・ソリューション・テクノロジー（SST社）の全株式の取得手続きが完了し、SST社が当社にグループインしました。

SST社は主に、Smart端末「ピットタッチシリーズ」の販売、店舗向け来店・販売促進サービス「Zeetle CS」および、独自開発の音波通信技術を利用した認証サービス「TrustSound」を提供しています。

ハードウェアの設計開発だけでなく、制御用のソフトウェア開発、また各種サービス向けのシステム開発、モバイルアプリケーション開発など、幅広い分野で優れた技術開発力を有するSST社のグループインにより、当社全体のDX能力の向上が見込めるほか、共に将来性のある新規事業セグメントの創出と構築を目指します。また、当社のグローバルなサプライチェーンと販売網、および堅実な品質保証体制とSST社の製品やサービスとを掛け合わせることで、両社における事業の強化を図ります。

今後は、両社の強みを生かしつつ経営資源を相互に活用し、両社が共に成長することで、社会の持続的発展に貢献してまいります。



SST社 東京本社

**pitTouch Pro**  
ビットタッチ・プロ3



## サステナビリティへの取り組み

### ●TCFD提言への賛同を表明

本年2月に気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言への賛同を表明しました。気候変動が事業に与える影響とそれによるリスクと機会について、TCFD提言に沿った情報開示を公式サイトにて行っております。今後も持続可能な社会の実現に向けて、取り組みを進めてまいります。



\*取り組みの詳細については、当社WEBサイトにてご紹介しています。

<https://star-m.jp/company/sustainability/esgissues/tcfid.html>



### ●サステナビリティサイトの公開

当社グループは、「企業と社員が共に成長し、社会に貢献する」という基本的な考えのもと、その実践を通じて持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指すことをサステナビリティ基本方針として掲げ、世界共通の社会課題の解決に向けた取り組みを進めています。これらの取り組みについて、投資家を含むステークホルダーの皆様にも広くお伝えするために、公式サイトにて関連情報を公開いたしました。



\*取り組みの詳細については、当社WEBサイトにてご紹介しています。

<https://star-m.jp/company/sustainability/index.html>



▶ 会社概要

設立	1950年7月6日
資本金	127億2千1百万円
従業員数	470名 (注)契約社員等の当中間期の平均雇用人員49名を除いております。
営業品目	1.特機(小型プリンター) 2.工作機械(CNC自動旋盤等工作機械)

▶ 役員

代表取締役社長	佐藤 衛	上席執行役員	佐藤 誠悟
常務取締役	笹井 康直	上席執行役員	寺尾 和芳
社外取締役	岩崎 清悟	上席執行役員	増田 文雄
社外取締役常勤監査等委員	西川 勢一	執行役員	花田 昌武
社外取締役監査等委員	杉本 基	執行役員	佐野 光司
社外取締役監査等委員	宮田 逸江	執行役員	篠宮 克宏

▶ 株式状況

発行可能株式総数	158,000,000株
発行済株式総数	42,465,134株
株主数	10,772名

(注) 2023年8月4日に当社普通株式543,700株を消却しましたので、同日現在の発行済株式総数は41,921,434株となっております。

▶ 所有者別分布状況



▶ 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
剰余金の配当の基準日	期末配当 12月31日 中間配当 6月30日
定時株主総会の基準日	毎年12月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 《郵送先》〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座の口座管理機関	東京証券代行株式会社
連絡先	東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 (NMF竹橋ビル6F) 電話 0120-49-7009 (通話料無料) 《郵送先》〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター
上場金融商品取引所	東京証券取引所プライム市場
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL (https://www.star-m.jp)
単元株式数	100株

▶ 大株主(上位10名)

	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,456	17.35
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,799	10.21
株式会社静岡銀行	1,582	4.25
株式会社日本カストディ銀行(年金信託口)	636	1.71
鈴木 通	618	1.66
ステートストリートバンク ウェストクライアントトリーティア 505234	583	1.57
日本生命保険相互会社	491	1.32
ジェーピー モルガン チェース バンク 385781	465	1.25
ザ バンク オブ ニューヨーク メロン 140044	463	1.25
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	458	1.23

(注1) 当社は、自己株式5,249千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。  
なお、2023年8月4日に当社普通株式543,700株を消却しましたので、同日現在当社が保有する自己株式は、4,706千株となっております。

(注2) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式に関するお手続きについて

お手続き内容	お問合せ窓口
● 住所・氏名等のご変更	<b>証券会社に口座をお持ちの株主様</b> <b>口座をお持ちの証券会社</b> <b>証券会社に口座をお持ちでない株主様</b> <b>特別口座の口座管理機関 東京証券代行株式会社</b> 《連絡先》東京都千代田区神田錦町三丁目11番地(NMF竹橋ビル6F) 電話 0120-49-7009 (通話料無料) ※三井住友信託銀行株式会社全国本支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く)においてもお取次しております。 《郵送先》〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター
● 単元未満株式の買取および買増請求	
● 配当金の受領方法のご変更	
● 未受領の配当金に関するお問合せ	<b>すべての株主様</b> <b>株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社</b> 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行 本支店でお支払いいたしません。 《連絡先》三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 《郵送先》〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
● 郵便物についてのお問合せ・再送付のご依頼	
● 株式事務に関する一般的なお問合せ	

ホームページのご案内

<https://www.star-m.jp>

当社のホームページでは、会社情報、IR情報や新製品に関するお知らせなどさまざまな最新情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

